

# 家畜の生産性向上にかかる暑熱対策

今年も暑い季節が到来します。気象庁が発表した向こう3か月（6、7、8月）の天候の見通しは下記のとおりです。家畜の生産性が損なわれることのないよう、早め早めの暑熱対策をよろしくお願いいたします。

## 月別平均気温と降水量(西日本)

	6月	7月	8月
平均気温	平年並みか高い	平年並みか高い	平年より高い
降水量 (日本海側)	平年並か多い	平年並	平年並

- ◆6～8月は高い気温と湿度が予想され、直射日光も強く、暑熱被害が早々に出る可能性があります。
- ◆被害が出た際には家畜保健衛生所へ速やかにご連絡願います。
- ◆具体的な暑熱対策は裏面を参考としてください。

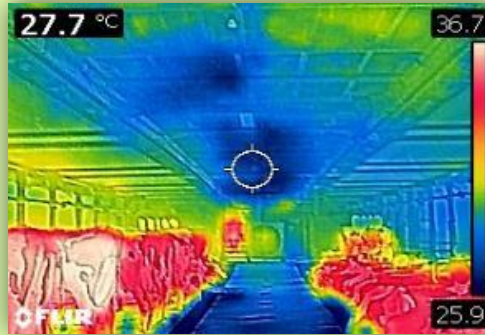
# ＜家畜の生産性向上にかかる暑熱対策＞

## 畜舎・鶏舎内の温度上昇等への対応

- ・ 直射日光の遮断、夜間外気の取込
- ・ 西日の遮光
- ・ 屋根、畜舎、吸気口への散水、噴霧
- ・ 家畜への送風、散水
- ・ ビニールカーテン吊り下げ
- ・ 毛刈り（牛）
- ・ 屋根、壁、床への断熱材、断熱塗装
- ・ 換気扇、送風ダクトによる強制換気



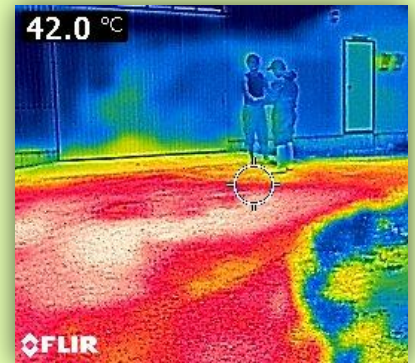
畜舎屋根へ石灰塗布することで直射日光の影響が緩和されます



畜舎内の送風と散水を有効に活用すると5度程度温度が下がります

## 畜舎・鶏舎周りの温度上昇の抑制

- ・ 日陰の整備
- ・ 寒冷紗の設置
- ・ 散水



畜舎周辺の地面の高温化は散水で緩和されます

## 家畜のコンディションの維持

- ・ 十分な飲水の確保、飼料の変敗防止
- ・ 適正な飼養密度の確保
- ・ 飼料は涼しい時間帯に給与、給与回数を増やす
- ・ 品質の高い粗飼料の給与、ミネラル等の補給（牛）
- ・ ガーリック、ビタミンA、D、Eの利用（豚）
- ・ 重曹、塩化カリウム、ビタミンCの投与（鶏）

（農林水産省資料参考）